

## 第2学年 美術科 年間学習計画と評価

### 1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術2・3上、美術2・3下（日本文教出版）
副教材	美術資料（秀学社）

### 2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</li> <li>意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。</li> </ul>	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>アイディアスケッチ</li> <li>ワークシート</li> <li>授業の様子や発言内容</li> <li>作品</li> <li>定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイディアスケッチ</li> <li>ワークシート</li> <li>授業の様子や発言内容</li> <li>作品</li> <li>定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイディアスケッチ</li> <li>ワークシート</li> <li>授業の様子や発言内容</li> <li>作品</li> </ul>

### 3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。</li> <li>主題を考え、これまでに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。</li> <li>主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。</li> <li>作品について感じたことを積極的に話し合ひましょう。</li> <li>鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。</li> </ul>
----	--

- ・「ものを見る目」「ものごとを感じる心」を育てましょう。美術館や博物館などにある美術作品はもちろんですが、テレビ、雑誌、お店の看板やポスター、本の表紙や挿絵なども注意深く見てみましょう。また、身近な自然（草花、空、川など）にも心を傾けてみましょう。世の中にはたくさんの「いろ」と「かたち」があふれています。作品づくりのヒントを見逃さないよう、アンテナを高く持っててください。
- ・定期テスト前には、鉛筆デッサンの練習をしましょう。デッサンは、描けば描くほど上達します。あきらめずに取り組みましょう。

#### 4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの実感と広がり・多彩な表現に挑むのはなぜだろう・あなたの美を見つけて・この教科書で学ぶみなさんへ</li> </ul> <p>○エッシャーの世界（デザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩の特徴を深く知る</li> </ul>	<p>2年生の美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、この1年で学ぶことや、これからの学習の見通しをもつ。</p> <p>テセレーションのデザインに関心を持ち、連続する図形の美しさや形から得られるイメージを基に主題を生み出し、形や色彩などによる効果を考え、見通しをもってデザインし表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偶然にできた形を基に主題を生み出す。</li> <li>・主題を基に、色彩の効果を考えながら制作する。</li> <li>・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。</li> </ul>
2 学 期	<p>○ルネサンスが目指したもの（鑑賞）</p>	<p>ルネサンスの表現の特徴や美しさ、時代背景などに関心を持ち、作者の意図と創造的な工夫、国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサンスの作品を鑑賞し、他の時代の作品と比べるなどして、気づいたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。</li> <li>・作品を通して、作者の生きた時代や社会的背景など、幅広い視点から捉えた作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考え、発表し合う。</li> <li>・美に憧れる人間の普遍的な心情など、ルネサンスの美術や文化のよさや美しさなどについてまとめる。</li> </ul>
3 学 期	<p>○つくって使って味わう工芸（工芸）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石を彫る</li> </ul>	<p>材料の特性や機能性を生かしてつくることに興味を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持ってデザインし表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある手づくりによる製品を取り上げ、材料の特性や質感などの工夫や良さについて考える。</li> <li>・材料の持ち味や、使う場面などから主題を生み出す。</li> <li>・主題を基に、材料や用具の特性を生かしながら制作する。</li> <li>・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。</li> </ul>